

(16) 佐賀県

対象地域	佐賀県	実施主体	佐賀県
目的・ねらい	<p>・『ゼロエミッション社会の実現』をテーマに、地球に優しい電気でクルマを走らせる『環境未来ゾーン』の構築を目指し、地球温暖化対策の一環として、さらには、地域づくりや次世代産業の育成のためにも EV・PHV の普及にしっかりと取り組んでいく。</p> <p><b>【普及目標】</b></p> <p>・導入台数</p> <p>2013 年度までの短期目標 1,000 台            (CO2 削減量 ▲1,870 トン/1000 台)</p> <p>2010～2011 年度 100 台</p> <p>2012 年度 300 台 ← 新車販売台数(32,843 台 2008 年)の 1%、            2013 年度 600 台 ← 新車販売台数の 2%</p> <p>2020 年度までの中期目標 乗用車新車販売台数の 20%            (6,200 台程度、CO2 削減量 ▲12 千トン)</p> <p>2050 年度までの長期目標 全自動車保有台数の 80%            (28 万台程度、CO2 削減量 ▲52 万トン)</p> <p>・充電インフラの整備</p> <p>○ 急速充電スタンド:2010 年度中 ファミリーマートと協定を締結し、7 箇所設置、ディーラー2 箇所、2011 年度 空港、新駅等の拠点に 6 箇所以上設置 計 15 箇所、2011 年度以降 その他の箇所に順次整備</p> <p>○ 普通充電スタンド:2011 年度まで 5 箇所以上 ← ファミリーマート店舗等を中心に整備、2013 年度まで ショッピングセンター等の普通充電器を設置したサポートショップを 300 店</p>		
取組内容	<p><b>初期需要の創出</b></p> <p>・導入補助制度、税の軽減策</p> <p>・重点モデル地区の設定</p> <p>・行政による率先導入</p> <p><b>充電インフラの整備</b></p> <p>・24H ユビキタスネットワークの構築</p> <p>・設置等に対する県の財政的支援</p> <p>・NTT データと連携したインフラ整備に係るビジネスモデルの構築</p> <p>・空き情報提供及び予約システム</p> <p><b>普及啓発</b></p> <p>・キャラクターの公募、愛称の募集</p> <p>・CSO と連携した 1 万人ローラー試乗会、全県キャラバン</p>		

	・県民サポーター1000人
課題	—
出典	経済産業省>EV・PHV 情報プラットフォーム